

# 令和5年度 第1学年 社会科シラバス（歴史的分野・地理的分野）

教科担当

## ◎社会科の目標

「広い視野に立って、地理的・歴史的事象に対する関心を高め、さまざまな資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的資質を培う。」

- (1) さまざまな視点から、世界の各地域や歴史上の出来事・人物を考察しよう。
- (2) 世界の各地域や歴史上の出来事・人物に関する様々な資料を収集し、適切に活用してレポートやワークシートにまとめ、発表しよう。
- (3) 様々な資料から得た情報を基にして、世界の各地域や各時代の特色を理解しよう。

## ◎生徒に頑張ってほしいこと

### 授業で

世界の各地域や歴史上の出来事・人物に興味関心を持ち、意欲的に学習に取り組むことが大切です。自分が不思議に思ったこと、疑問に感じたことを大切に、探求心を持ちながら授業に臨みましょう。

### 家庭で

復習することで知識が定着します。学習内容を理解することが、次の学習の意欲につながります。自分なりの学習の進め方を決め、実行していくことが学習の定着につながります。

## ◎学習内容

1 学期	2 学期	3 学期
<p><b>地理</b></p> <p><u>第1編 世界と日本の姿</u></p> <p>第1章 世界の姿</p> <p>第2章 日本の姿</p> <p><u>第2編 世界の様々な地域</u></p> <p>第1章 世界各地の人々の生活と環境</p> <p><b>歴史</b></p> <p><u>第1章 歴史へのとびら</u></p> <p>1節 歴史をとらえる見方・考え方</p> <p>2節 身近な地域の歴史</p> <p><u>第2章 古代までの日本</u></p> <p>1節 世界の古代文明と宗教のおこり</p>	<p><b>歴史</b></p> <p><u>第2章 古代までの日本</u></p> <p>2節 日本列島の誕生と大陸との交流</p> <p>3節 古代国家の歩みと東アジア世界</p> <p><u>第3章 中世の日本</u></p> <p>1節 武士の政権の成立</p> <p><b>地理</b></p> <p><u>第2編 世界の様々な地域</u></p> <p>第2章 世界の諸地域</p> <p>～アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州～</p>	<p><b>地理</b></p> <p><u>第2編 世界の様々な地域</u></p> <p>第2章 世界の諸地域</p> <p>～北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州～</p> <p><b>歴史</b></p> <p><u>第3章 中世の日本</u></p> <p>2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開</p>

## ◎評価について

1. 知識及び技能の評価
  - (1) 定期テストの問題の中に資料を活用して答える問題を入れて評価する
  - (2) 授業中の発表内容、ノートまとめ方、課題レポートなど
2. 社会的な思考力・判断力・表現力の評価
  - (1) 定期テストの問題の中に社会的な思考・判断力、表現力を問う問題を入れて評価する
  - (2) 授業中の発表内容、ノートまとめ方、課題レポートなど
3. 主体的に学習に取り組む態度についての評価
  - (1) 授業規律（チャイム着席を守る、忘れ物をしない、私語等をせず、授業に集中する）
  - (2) 発言、発表、作業への取り組み状況
  - (3) ノート、ワークブック等の提出、取り組み状況

# 令和5年度 第2学年 社会科シラバス（歴史的分野・地理的分野）

教科担当

## ◎社会科の目標

「広い視野に立って、地理的・歴史的事象に対する関心を高め、さまざまな資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的資質を培う。」

- (1) さまざまな視点から、世界や日本の各地域や歴史上の出来事・人物を考察しよう。
- (2) 世界や日本の各地域や歴史上の出来事・人物に関する様々な資料を収集し、適切に活用してレポートやワークシートにまとめ、発表しよう。
- (3) 様々な資料から得た情報を基にして、世界や日本の各地域や各時代の特色を理解しよう。

## ◎生徒に頑張ってもらいたいこと

### 授業で

世界や日本の各地域や歴史上の出来事・人物に興味関心を持ち、意欲をもって学習に取り組むことが大切です。自分が不思議に思ったこと、疑問に感じたことを大切にし、それらを追究しようとする心を持ちながら授業にのぞみましょう。

### 家庭で

復習することで知識が定着します。学習内容を理解することが、次の学習の意欲につながります。自分なりの学習の進め方を決め、実行していくことが学習の定着につながります。

## ◎学習内容

1 学期	2 学期	3 学期
<p><b>地理</b></p> <p>第3編 日本のさまざまな地域</p> <p>第1章 地域調査の手法</p> <p>第2章 日本の地域的特色と地域区分</p> <p><b>歴史</b></p> <p>第4章 近世の日本</p> <p>1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一</p> <p>2節 江戸幕府の成立と対外政策</p>	<p><b>地理</b></p> <p>第3章 日本の諸地域</p> <p>1節 九州地方</p> <p>2節 中国・四国地方</p> <p>3節 近畿地方</p> <p>4節 中部地方</p> <p>5節 関東地方</p> <p>6節 東北地方</p> <p>7節 北海道地方</p> <p><b>歴史</b></p> <p>3節 産業の発達と幕府政治の動き</p>	<p><b>地理</b></p> <p>第4章 地域の在り方</p> <p><b>歴史</b></p> <p>第5章 開国と日本の歩み</p> <p>1節 欧米における近代化の進展</p> <p>2節 欧米の進出と日本の開国</p> <p>3節 明治維新</p>

## ◎評価について

### 1. 知識・技能の評価

- (1) 発表内容、提出物の内容（ノートやワーク等）、教師の観察など
- (2) 小テスト、定期テストの達成度

### 2. 思考・判断・表現の評価

- (1) 発表内容、レポートの内容、提出物の内容（ノートやワーク等）、教師の観察など
- (2) 定期テストの達成度

### 3. 主体的に学習に取り組む態度の評価

- (1) 学習の取り組み状況、レポートの取り組み状況など
- (2) 提出物の取り組み状況（ノートやワークブック等）

# 令和5年度 第3学年 社会科シラバス（歴史的分野・公民的分野）

教科担当

## ◎社会科の目標

「広い視野に立って、地理的・歴史的事象に対する関心を高め、さまざまな資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的資質を培う。」

- (1) さまざまな視点から、世界の各地域や歴史上の出来事・人物を考察しよう。
- (2) 世界の各地域や歴史上の出来事・人物に関する様々な資料を収集し、適切に活用してレポートやワークシートにまとめ、発表しよう。
- (3) 様々な資料から得た情報を基にして、世界の各地域や各時代の特色を理解しよう。

## ◎生徒に頑張ってもらいたいこと

### 授業で

世界の各地域や歴史上の出来事・人物に興味関心を持ち、意欲をもって学習に取り組むことが大切です。また、現代社会の様々な課題について、自分が感じたことを大切に、解決策や持続可能な社会の実現方法を模索、追究しようとする心を持ちながら授業にのぞみましょう。

### 家庭で

復習することで知識が定着します。学習内容を理解することが、次の学習の意欲につながります。自分なりの学習の進め方を決め、実行していくことが学習の定着につながります。

## ◎学習内容

1 学期	2 学期	3 学期
<b>歴史</b> 第5章 開国と近代日本の歩み 4節 日清・日露戦争と近代産業  第6章 二度の世界大戦と日本  第7章 現代日本と世界	<b>公民</b> 第1章 現代社会と私たち  第2章 個人の尊重と日本国憲法  第3章 現代の民主政治と社会  第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と市場経済 2節 生産と労働	<b>公民</b> 第4章 私たちの暮らしと経済 3節 市場経済の仕組みと金融  4節 財政と国民の福祉 5節 これからの経済と社会  第5章 地球社会と私たち

## ◎評価について

1. 知識及び技能の評価
  - (1) 定期テストの問題の中に資料を活用して答える問題を入れて評価する
  - (2) 授業中の発表内容、ノートのまとめ方、課題レポートなど
2. 社会的な思考力・判断力・表現力の評価
  - (1) 定期テストの問題の中に社会的な思考・判断力、表現力を問う問題を入れて評価する
  - (2) 授業中の発表内容、ノートのまとめ方、課題レポートなど
3. 主体的に学習に取り組む態度についての評価
  - (1) 授業規律（チャイム着席を守る、忘れ物をしない、私語等をせず、授業に集中する）
  - (2) 発言、発表、作業への取り組み状況
  - (3) ノート、ワークブック等の提出